| 学校番号 | 3024 |
|---|---|

# 令和２年度　英語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 英語 | 英語表現 | 2 | 第２学年 | Perspective English Expression Ⅱ<br>Upgrade 英文法・語法問題集<br>Write to the point |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に学習した文法事項（input）を強化しつつ、更に発展した「読む・書く・話す・聴く」の４技能（output）を伸ばしていきます。それぞれの構文や文法の学習に際して、対応する日本語を頼りにする（日本語に引きずられる）のではなく、その英語自体に備わっているイメージや概念で理解するよう心がけましょう。

## ２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：英語理解（２単位）　異文化理解（１・２単位）　英語表現（２単位）

主な教材：上記の教材および教科書の内容に関連した他教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ①英文を読み、また話された英文を聞いて、その概要を簡単に話すことができる。<br>②説得力のある賛成反対意見を述べることができる。<br>③自分の考えについて相手に説明したり、相手の考えに対して質問したりするなど、意見交換をすることができる。 | 英語理解・異文化理解<br>プレゼンテーション、インタビューテスト、スピーチ<br><br>英語表現<br>スピーチ等 | ①英文を読み、また話された英文を聞いて、その概要を簡潔に書くことができる。<br>②複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、論理的な文章を書くことができる。<br>③与えられた日本語を英語に訳す際に、必要な文法事項に気づき使用することができる。 | 英語理解・異文化理解<br>エッセイや定期考査等<br><br>英語表現<br>小テストや定期考査等 | ①自然な速さで話される様々な分野のスピーチを聞いて、話者の意図や訴えたい事を把握することができる。 | 英語理解・異文化理解<br>リスニングテスト | ①必要に応じて読む速度や読み方を変えて、正確に英文を読むことができる。<br>②書き手の意図や目的を的確に理解することができる。<br>③構文を理解しながら日本語に訳すことができる。 | 英語理解・異文化理解<br>小テストや定期考査等 |

## ３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 英語表現の能力 | 英語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

## 4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson1-5<br>( 10 時間) | コミュニケーション活動において必要な基本的ルールを学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペアワークを行い、互いに協力しながら会話を続ける。 | ・セクションごとの内容について話すのに必要なキーワードをワークシートに記し、それを参考にペアの相手に伝える。 | ・ペアワークで、互いに協力しながら会話を続けている。<br>・間違えることを気にせず、積極的に表現しようとしている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「英語表現の能力」 | | | |
| | | ・パラグラフを読み、内容を要約する。 | ・パラグラフを読み、Target Sentences を活用し、セクションごとの概要を理解し、そのパラグラフのまとめを行う。 | ・読んだ文章の内容を要約できる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | | | | |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・言語/文化などのトピックの内容を理解する。 | ・導入/主題/指示文/結語の構成を学習、習得する。 | ・構成やつなぎ語を知り、内容を理解し、要約できる。 | ・定期考査の筆記問題から、知識の習得を診断する。 |
| Lesson5-22<br>( 40 時間) | コミュニケーション活動において効果的な技術を学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・表現の役割や目的（functional expressions）に留意し、自分の意見を言う。<br>・内容の展開などに注意して話す。 | ・各セクションのトピックについての意見を、functional expressions に留意しながら、ペアワークの相手に伝える。 | ・ペアワークで、互いに協力しながら会話を続けている。<br>・コミュニケーションを続けるために、様々な工夫をしている。 | ・ペアワークにおける言語活動を観察。 |
| | | 「英語表現の能力」 | | | |
| | | ・functional expressions を理解する。<br>・パラグラフごとの内容を理解する。 | ・高齢化社会、地球温暖化といった、社会学や環境問題、スポーツ、宇宙、大学、芸術などの様々な論題について内容を理解する。<br>・論点や根拠などを明確にして，文章の構成や図表との関連，表現の工夫などを考えながら書くこと。また，書いたものを読み返して推敲すること。 | ・文章を読み、その内容の要約ができる。 | ・ペアワークにおける言語活動を観察。<br>・定期考査の筆記問題から、知識が身に付いているかを診断する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | | | | |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・感情、意見・行動、論理、修辞表現や、その他、部分否定、強調、時制表現、頻度、条件、例示、数量に関する表現を理解する。 | ・推測、確信、期待、驚き、義務・必要、要求、可能、許可、禁止、賛成・反対、使役、結果、原因、理由、付帯状況、比較、譲歩などの表現の使い方を学習。 | ・感情、意見・行動。論理、修辞表現やそのほかの表現を使って文章を作ることができる。 | ・定期考査の筆記問題から、知識の習得度合いを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson21-31<br>(20 時間) | 今まで学んだことを活用して、実際にコミュニケーション活動を行ってみる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・間違えることに萎縮することなく、積極的に主題に基づいて話す。 | ・各 Unit で課されている Task に沿って Output 活動を行う。 | ・間違いを恐れず、積極的について話している。 | ・ペアワークでの言語活動を観察する。 |
| | | 「英語表現の能力」 | | | |
| | | ・典型的なパターンに合わせて論理を構成し、適切なつなぎ言葉を使いながら、パラグラフを完成させる。 | ・比較・対比、時間的順序、具体例・検証、原因・結果、分類、指示・手順、意見・理由などの典型的なパターンに合わせて論理を構成し、パラグラフを完成させる。 | ・言語材料を使って，文章が書ける。<br>・情報や考えなどを正確に書ける。<br>・適切なつなぎ言葉を使って、自分の考えを論理的かつ伝わりやすく述べている。<br>・論点や根拠などを明確にしながら，文章の構成や図表との関連，表現の工夫などに留意して書いている。 | ・定期考査の筆記問題から、理解および、表現力の習得を判断する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | | | | |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・典型的なエッセイ（論文）の構成パターンを理解する。 | ・エッセイの典型的な構成パターンの文を読み、理解し、自らそのパターンを使った文章を書く。<br>・外国語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身に付け，その背景にある文化などを理解している。 | ・パターンを使って文章が書くことができている。<br>・言語材料について正しく理解し，運用することができる。<br>・その課で扱ったトピックや問題などを理解している。 | ・定期考査の筆記問題より、知識が身に付いているかを判断する。 |